

価値創出に向けた戦略

研究開発

2020年度は、長年研究開発を続けてきた核酸医薬品であるデュシェンヌ型筋ジストロフィー（DMD）治療剤ビルテプソを、日本および米国で販売を開始することができました。2021年度も引き続き、これまで培ってきた低分子や核酸医薬品の研究開発に加え、遺伝子治療などの新規創薬モダリティにも積極的に取り組み、独自性を追求した研究開発を推進していきます。また、自社創薬に加え、導入やPLCMを推進してパイプラインを拡充するとともに、積極的な海外開発を推進していきます。

取締役 研究開発担当 高垣 和史



強み 日本新薬には、低分子医薬品の「ウブトラビ」、核酸医薬品の「ビルテプソ」を生み出した優れた研究開発力があります。さらには、新たなモダリティとして遺伝子治療に取り組み、幅広い創薬力を追求しています。この創薬力を駆使して、注力する4領域（泌尿器科、血液内科、難病・希少疾患、婦人科）を中心に、新たな価値を創造し続けるとともに、グローバルでの開発を推進し、いち早く世界の患者さんへ薬剤を届けます。

「第六次5ヵ年中期経営計画」の進捗

2020年度の概況

注力領域のパイプライン拡充

2016年に発売した肺動脈性肺高血圧症治療剤「ウブトラビ」（開発記号：NS-304、一般名：セレキシバグ）について、2020年11月に慢性血栓塞栓性肺高血圧症の適応追加承認申請を行いました。この効能効果については、厚生労働省より希少疾病用医薬品の指定を受けています。また、閉塞性動脈硬化症を対象とした後期第Ⅱ相試験および腰部脊柱管狭窄を対象とした前期第Ⅱ相試験を実施中です。

2020年に日本および米国で発売したデュシェンヌ型筋ジストロフィー（DMD）治療剤「ビルテプソ」（開発記号：NS-065/NCNP-01、一般名：ビルトラルセン）については、2020年6月に欧州委員会からオーファンドラッ

グの指定を受けました。また、現在国際共同試験にて第Ⅲ相試験を実施中です。

2011年3月に発売を開始した骨髄異形成症候群治療剤「ビダーザ注射用100mg」（一般名：アザシチジン）について、2021年3月に国内における急性骨髄性白血病の効能追加に係る承認を取得しました。

2016年にファーマコスモス社より導入した鉄欠乏性貧血治療剤「NS-32」は、国内第Ⅲ相試験を終了し、2021年3月に承認申請を行いました。

2021年3月には、芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍治療剤であるタグラクソファスプについて、メナリーニ・グループ（本社：イタリア・フィレンツェ）と、日本における開発および販売に関する独占的ライセンス契約を締結しました。



2021年度の戦略

パイプライン拡充と新たな成長基盤の構築を目指して

ビルテプソに続くDMD治療剤（エクソン44）や骨髄線維症治療剤（NS-018）などの自社創薬品の開発を推進するとともに、導入品の鉄欠乏性貧血治療剤（NS-32）や難治てんかん治療剤（ZX008）を早期に市場投入することを目指し、さらにウブトラビ（NS-304）のPLCMを推進して、パイプラインの拡充を図ります。

また近年、遺伝子治療や再生医療など、新たな創薬モダリティに注目が集まっており、従来の創薬手法だけでは開発競争を勝ち抜くことが難しくなっています。当社は、新たな創薬モダリティに取り組むことで創薬の幅を広げ、さらなる独自性の追求により成長基盤を構築していきます。

価値創造に向けた取り組み

～健康未来の実現に向けた社内資源の強化～

「パイプライン拡充」と「新たな成長基盤の構築」に向けた取り組み

1. 最適な創薬モダリティの選択

近年、創薬研究においては、核酸医薬や分子生物学の進展に伴い登場した新しい創薬モダリティの活用が加速しています。当社では、低分子医薬品に加え、核酸医薬品開発にも力を入れ、ともに上市製品を生み出し、今では遺伝子治療にも取り組んでいます。これらの取り組みを推進するため、アカデ

ミアなど社外との連携を強化するほか、多様な創薬モダリティの特徴や将来性を分析し、疾患やメカニズムに応じて最適な創薬モダリティを選択しています。また、新規創薬モダリティを活用するための人材育成や、創薬テーマの戦略的な起案活動を推進しています。

2. PLCM戦略の推進

創薬ターゲットの枯渇などを背景に、新薬の開発にかかる期間とコストが増大しており、創薬の困難さは年々

増しています。また、薬価において初の中間年改定が行われるなど外部環境の変化が激しい中、製品の価値を最大化し、収益を確保することが重要な経営課題になっています。当社は、適応拡大や剤形追加などを積極的に行い、ウブトラビをはじめとする製品の価値を最大化するためのPLCM活動を推進しています。また、開発品についても、候補化合物の特性を踏まえた戦略的なPLCM計画を立案しています。

パイプライン（2021年8月10日現在）

国内

開発記号（一般名）	開発段階	領域分類	適応	オリジン	開発	フェーズ			申請中	発売
						I	II	III		
NS-065／NCNP-01 （ビルトラルセン）	発売 PⅢ	難病・ 希少疾患	デュシェンヌ型筋ジストロフィー	共同：国立精神・神経医療研究センター	自社					
NS-304 （セレキシバグ）	申請中		慢性血栓塞栓性肺高血圧症	自社	共同：ヤンセンファーマ株式会社					
NS-32 （デルタソマルトース第二鉄）	申請中	婦人科疾患	鉄欠乏性貧血	導入：ファーマコスモス社	自社					
ZX008	PⅢ	難病・ 希少疾患	ドラベ症候群、レノックス・ガストー症候群	導入：ゾジェニックス社	ゾジェニックス社					
	PⅡ	循環代謝系	閉塞性動脈硬化症	自社	自社					
NS-304 （セレキシバグ）	PⅡ	整形外科	腰部脊柱管狭窄	自社	自社					
	PⅡ	循環代謝系	小児肺動脈性肺高血圧症	自社	自社					
NS-580	PⅡ	婦人科疾患	子宮内膜症	自社	自社					
NS-87	PI/Ⅱ	血液がん	二次性急性骨髄性白血病	導入：ジャズ・ファーマシューティカルズ社	自社					
NS-229	PI	炎症性疾患	炎症性疾患	自社	自社					
NS-917	PI準備中	血液がん	再発・難治性急性骨髄性白血病	導入：デルタフライファーマ株式会社	自社					
NS-401 （タグラクソファスプ）	開発準備中		芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍	導入：メナリーニ社	自社					

海外

開発記号（一般名）	開発段階	領域分類	適応	オリジン	開発	フェーズ			申請中	発売
						I	II	III		
NS-065／NCNP-01 （ビルトラルセン）	発売 PⅢ	難病・ 希少疾患	デュシェンヌ型筋ジストロフィー	共同：国立精神・神経医療研究センター	自社					
NS-304 （セレキシバグ）	PⅢ		慢性血栓塞栓性肺高血圧症	自社	導入：ジョンソン・エンド・ジョンソン社					
NS-018 （ilgatinib）	PⅡ準備中	血液がん	骨髄線維症	自社	自社					

価値創出に向けた戦略

営業

営業部門の使命は、医療関係者に質の高い情報提供を行うことで、病気でお困りの患者さんに適切な治療、薬剤をお届けし、ウェルビーイングを実現することです。

外部環境の変化に対して受け身にならず、自ら新しい道を切り拓く人材を育成するとともに、従業員一人ひとりの役割を明確化し、営業本部が一つのチームとして連携していくことで、医療関係者から治療のパートナーとして信頼される存在を目指します。

常務取締役 営業担当 佐野 省三



強み 2013年より導入した社内認定試験制度が定着し、注力領域である肺高血圧症領域、血液内科領域におけるSpecialist MRを複数輩出してきました。主力製品がスペシャリティ領域（癌や希少疾病など専門性の高い疾患）へと移行し、より質の高い活動が求められる中で、全営業本部員に学ぶ文化が醸成されています。さらに飛躍していくために、多種多様な研修プログラムを準備するだけでなく、従業員同士が気軽に知識移転を行う場を提供したことや、チーム制の導入によって刺激し合う環境を整備したことで、営業本部全体に好循環が生まれています。

「第六次5ヵ年中期経営計画」の進捗

2020年度の概況

ニューノーマルに適応した 質の高い情報提供体制の確立

2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、これまでのFace to Faceを中心とした情報提供活動からオンラインを中心とした活動へとシフトしました。この大きな変化に適応すべく、デジタルコンテンツの整備はもちろんのこと、デジタル人材の育成にも力を入れることで、例年と遜色のない質の高い情報提供活動を実現できる体制を整えました。また、MRチャネルのみならず、デジタルチャネルを介した情報提供活動も強化することで、医療関係者へ迅速に情報をお届けする仕組みを構築しました。

肺高血圧症領域では、肺動脈性肺高血圧症（PAH）の適応を有する「ウプトラビ」「オプスミット」「アドシルカ」と3つの異なる作用機序の経口剤を世界で唯一取りそろえるリーディングカンパニーとして、治療や地域の医療体制の整備に貢献しています。

小児・神経内科領域では、デュシェンヌ型筋ジストロフィー治療剤「ビルテプソ」を2020年5月に発売しました。これまで治療薬が存在しない疾患領域であったため、早期に患者さんへお届けできるよう情報提供活動を進めています。

その他、血液内科領域や泌尿器領域においても、長年にわたる活動で、医療関係者から高い評価を頂いており、当社の業績を支える柱となっています。

2021年度の戦略

エリアマーケティングプランに基づいた 地域医療と患者さんへの貢献

2021年度は、学術組織をプロダクトマーケティング部に改変しました。当部は、充実したMR研修や注力領域の知識補完のみならず、客観的データに基づいたエリアマーケティングプランの構築、実行を主体となって進める役割を担います。プロダクトマーケティング部員の活躍の場は、オンラインを活用した情報提供活動に代表されるMR活動のデジタルシフトによって、大きく広がっています。これからの時代、デジタルによる情報提供活動の重要性は増していきますが、質の高いリアルな情報提供活動を実現することも同様に重要と考えています。つまり、MRを介した情報提供活動の質を追求し、医療関係者のニーズに迅速に対応できる体制を整備することです。これを実現するため、MRとプロダクトマーケティング部員が一体となって活動することで、「患者さんの治療に適切な薬剤を、一日でも早くお届けする」という営業部門の使命を果たしていきます。



価値創造に向けた取り組み

患者さんの治療に貢献するために

日本新薬は、希少疾患でお困りの患者さんへ貢献する取り組みに注力しています。小児・神経内科領域の「ビルテプソ」は、デュシェンヌ型筋ジストロフィー（DMD）治療剤として2020年5月に薬価収載されました。これまで、本疾患の進行抑制に対してエビデンスが得られているステロイド薬以外に有力な治療法はなく、新たな治療薬の早期開発が望まれていました。

肺動脈性肺高血圧症領域では、「ウプトラビ」「アドシルカ」「オプスミット」という3つの異なる作用機序の経口剤を有しています。本疾患の発症頻度は100万人に1～2人と稀な疾患で、治療介入を行わなかった場合、診断からの平均生存期間は2.8年と予後不良でした。治療法が乏しかった領域ですが、当社の3製品をはじめとする画期的な治療薬が近年登場してきたことで、生命予後は改善傾向を示しています。

当社の価値ある製品を一日でも早く、一人でも多くの患者さんにお役立ていただくためには、疑いのある患者さんを早期に発見し、専門施設へとつなぎ、適切な治療が施されることが重要です。患者さんやそのご家族のウェルビーイングが実現されるよう、私たちはさまざまな取り組みを行っています。

■ DMD患者さんへの貢献

小児・神経内科領域の専門の先生のみならず、小児科の日常診療を受け持つ非専門の先生方に対し、疾患および治療薬を広く知っていただく活動を行っています。患者さん、医療関係者の双方へ啓発活動を行い、一日も早く患者さんに治療薬をお届けすることを目指しています。まだまだ認知率は低いため、今後も多方面から活動を続けていきます。

また、DMD患者さん向け疾患啓発サイト「DMDを知る」や医療機関情報の提供ページ「HelC+ 病院検索 デュシェンヌ型筋ジストロフィー」、神経筋疾患（NMD）の治療薬を販売している3社が連携して開設した「もしかしてNMD？」などを通じて、患者さんや一般の方向けに情報提供を行っています。また、Webサイトだけでなく、新聞への広告などを実施して、専門の先生のお話を広く一般の方に向けて発信する機会を作ること、疾患や治療法について深くご理解いただく取り組みも行っています。お子さんを持つ保護者の方に、DMDという疾患を広く知っていただくことが、患者さんを早期に見つけ、適切な治療に結び付けるきっかけになると考えています。

■ 肺高血圧症患者さんへの貢献

肺高血圧症（PH）という疾患を非専門の先生方にも広く知っていただくため、自社Webサイトをはじめとするさまざまなデジタルコンテンツを活用し、e-ディテール、Webセミナーを実施しています。また、患者さんが治療へと至るフローを確立すべく、肺高血圧症を専門とする先生と非専門の先生方をつなぐ講演会を各地で実施し続けています。

患者さん向けの取り組みとしては、自社Webサイト「肺高血圧症治療サポート」「知ってる？ 強皮症の合併症 息切れとPH」を運用しており、肺高血圧症の病態・症状・検査・治療・助成制度などに関する情報提供を行っています。スマートフォンアプリ「PAHケアノート」では、患者さんが日々の症状や服薬状況を記録し、データ化することで、患者さん自身がグラフやレポートによる振り返りが可能になるだけでなく、診察時に主治医とのコミュニケーションツールとしてもご活用いただけます。また、服薬通知機能により飲み忘れを防ぐこと、副作用などお困りのことがあれば、自社Webサイト「肺高血圧症治療サポート」へ誘導される仕組みもあり、患者さんが安心して肺高血圧症治療に向き合っているよう、取り組んでいます。

価値創出に向けた戦略

サプライチェーン・信頼性保証

2020年度は、第六次5ヵ年中期経営計画2年目の目標をほぼ達成しました。特に、「ビルテブソ」の米国での自社販売開始に際してグローバル供給体制・信頼性保証体制を構築できたことは、今後、欧州や中国などへ展開するための大きな一歩となりました。

また、サステナビリティの実現に向け、2030年を見据えたマテリアリティ（重要課題）を設定し目標管理を行っています。中期経営計画と合わせ、特定された課題に取り組み、信頼性の高い医薬品を安定してお届けするというサプライチェーン・信頼性保証の使命を世界の患者さんに対して果たしていきたいと考えています。

取締役 サプライチェーン・信頼性保証担当 **木村 ひとみ**



強み

米国での自社販売を皮切りに、海外市場の重要性が高まる中、小田原総合製剤工場では、スペシャリティ領域（がんや希少疾病など専門性の高い疾患）への対応拡大や、環境／労働衛生／安全防災（EHS）^{※1}への取り組みを強化しています。また、流通面でも輸送や保管過程における医薬品の適正流通（GDP）^{※2}ガイドラインに対応するなど、医薬品サプライチェーンの信頼性保証体制や供給体制のグローバル対応を推進しています。

※1 Environment Health & Safetyの略称
※2 Good Distribution Practiceの略称

「第六次5ヵ年中期経営計画」の進捗

2020年度の概況

「ビルテブソ」の米国発売に対応し、グローバル供給体制のさらなる強化と生産性向上を推進

2020年度は、グローバル供給体制・信頼性保証体制を構築し「ビルテブソ」の米国での販売開始に対応しました。具体的には、輸送や包装のバリデーション実施、各委託先との運用手順、米国での品質管理手順、変更管理手順、安全性情報管理手順の確立など、さまざまな準備を整えました。

併せて、小田原総合製剤工場では、事業継続計画（BCP）^{※3}を取り入れた核酸医薬品原薬専用の冷蔵保管庫を新設して安定供給体制を強化するとともに、模擬査察などによりグローバル運用に向けたギャップ分析を実施継

続中です。さらに、「ビルテブソ」に続く核酸医薬品を視野に核酸医薬品関連の新規投資について具体的な検討も開始しました。

流通面では、グローバル供給体制の確立とともに、医薬品の適正流通（GDP）ガイドラインに対応できる組織体制の構築、物流倉庫の移転や手順書の制定を行いました。

また、2019年度に引き続き安定供給体制の強化や業務の効率化とローコストマネジメントを一層推進するため、サプライチェーンにおける新たなリスク評価基準の整備や注力品目の原料調達のコスト削減などを実施しました。

※3 Business Continuity Planの略称

2021年度の戦略

グローバル供給体制の強化、スペシャリティ領域や医薬品モダリティの多様化への対応などに注力

海外市場への展開はますます重要となっており、米国での自社販売開始に伴い構築した供給体制や信頼性保証体制を足掛かりに、欧州や中国、その他新興国市場にも対応するためグローバル供給体制の強化を推進しています。

また、市場のスペシャリティ領域へのシフトや医薬品モダリティの多様化に対応するため、小田原総合製剤工場の積極的な活用を推進しています。具体的には、肺動脈性肺高血圧症治療剤「ウプトラビ」（開発記号：NS-304、一般名：セレキシバグ）のプロダクト・ライフサイクル・マネジメント（PLCM）における高生理活性固形製剤棟の活用、核酸医薬品関連の新規投資案件の検討や関連製品立ち上げに伴う海外査察対応などを行っています。さらには、将来の労働人口減少にも対応できるよう工場の生産設備のロボット化やAIおよびファクトリーオートメーション技術の導入による効率化を推進しています。

併せて、調達・物流コストの低減など継続したコストマネジメントを推進し、利益創出に貢献していきます。

価値創造に向けた取り組み

品質保証と安定供給

研究開発段階から製造販売後までの信頼性の確保

日本新薬では、安全で高品質な製品を提供するとの経営方針に基づき、信頼性保証統括部門を中心に、医薬品に不可欠な品質、有効性および安全性の確保に努めています。

研究開発段階では、まず非臨床試験や臨床試験を実施し、その結果をもとに、製造販売承認を得るための申請資料を作成します。次に、申請資料を信頼性保証統括部門が適切な段階で監査し、非臨床試験や臨床試験でのデータの信頼性を保証しています。

製造販売承認の取得後は、製造販売業三役（総括製造販売責任者、品質保証責任者、安全管理責任者）の強固な連携により、承認事項を遵守するとともに、医薬品製造販売業許可や医薬品製造業許可の維持・管理に努め、製造販売している医薬品の品質保証と安全性確保に取り組み、市場への責任を果たしています。

医薬品の信頼性保証

研究開発段階	
非臨床試験	臨床試験
GLP、信頼性基準に基づく試験データの信頼性保証	GCPに基づく臨床試験の信頼性保証



製造販売後		
品質管理	安全管理	承認・許可の維持・管理
GMP、GQPに基づく品質管理	GVPIに基づく安全管理	製造販売承認・製造販売業許可などの維持・管理



医薬品のリスク管理への取り組み

日本新薬では、医薬品リスク管理計画（RMP）^{※4}に沿ったリスク管理を進めています。RMPは、開発段階から製造販売後までのすべての期間においてベネフィットとリスクを評価し、その結果に基づいて必要な安全対策を実施することにより、医薬品の製造販売後の安全性を確保することを目的としています。RMPは医薬品医療機器総合機構（PMDA）と日本新薬のWebサイトで公開しています。

安全管理部門では、RMPの実践に向けて、担当者の対応能力向上を目的としたマニュアルの整備や、グループ制によるボーダーレスな業務担当体制を構築しています。

さらに、核酸医薬品となるデュシェンヌ型筋ジストロフィー治療剤「ビルテブソ」などの海外展開に伴い、グローバル基準でのファーマコビジュランス体制の確立と安全性情報の一元管理を推進しています。

※4 Risk Management Planの略称。製造販売後の個々の医薬品の重要なリスクを定義し、そのリスクを低減するために企業が行っている取り組みを一つの文書にまとめたもの

医薬品品質システムの構築

品質保証部門では、GQP、GMPの遵守と合わせて医薬品品質システムを構築し、マネジメントレビューを通して、品質システム、製品品質および資源配分の継続的改善に取り組んでおり、監査を通じて製造所のGMP遵守状況や承認書の遵守を確認しています。また、今後のグローバル展開に伴い、各国の規制要件に則して品質システムを整

備し、英語コミュニケーション能力や、海外の品質保証に関する知識・経験を有する人材の確保・育成を進めています。

安定的な製品の供給

サプライチェーン全体を通じた安定供給体制の強化を行うため、リスクマネジメントの国際基準ISO31000に則り、品目ごとの動的な潜在リスクを定量評価する基準を整備しました。リスク評価結果に基づき発生を抑止するための対策を検討し、影響度の大きさも考慮してプライオリティをつけてリスク軽減策を実行します。流通面でも、医薬品の適正流通（GDP）ガイドラインに準拠した対応を充実させるとともに、在庫保管場所の分散検討により、災害時リスクにも配慮した供給体制を整えていきます。

小田原総合製剤工場については、製造管理や品質管理の業務を中心に資格認定制度を導入していますが、退職などによる資格喪失により業務が滞らないよう、資格喪失リスクを見える化しながら、従業員の多能工化推進を継続します。また、事業継続計画（BCP）については、地震、火災、停電、水害、噴火などの災害対応として、耐震補強工事、防火防水壁・扉の設置、自家発電の設置と補給燃料供給方法の確立、火山灰除去を容易にする片流れ屋根の採用や排出口の設置など、ハード面強化に加えて、手順書作成や実地訓練などのソフト面も充実させていきます。さらに、核酸医薬品関連の新規投資についても検討を進め、より安定的な製品供給を目指します。

価値創出に向けた戦略

機能食品事業

機能食品事業は、バルク事業とサプリメント事業を通じて、環境への配慮や食料問題、フードロスといった社会問題を解決することに挑戦し、人々の健康志向や疾病予防のニーズを満たす特長のある新製品を継続して提供していきます。

そして、私たちは、一人ひとりが活躍できる組織風土を醸成し、食を通じて人々の健康と豊かな生活創りに貢献していきます。

取締役 機能食品担当 石沢 整



強み 食品開発研究所を有しており、製薬企業としての高い技術力を生かして、高品質で独創性のある製品を開発し提供しています。また、製薬企業ならではの徹底した「原材料管理」「生産管理」「品質管理」を行っています。

その他、健康食品素材やプロテイン製剤、品質安定保存剤など幅広い分野の製品開発・販売を行っており、食を通じて、人々の豊かな生活創りに貢献しています。



「第六次5ヵ年中期経営計画」の進捗

2020年度の概況

新型コロナウイルス感染症による事業活動の制限に負けず、2020年度の売上目標を達成

2020年度は、新型コロナウイルスの感染予防のため、事業活動が大きく制限されました。このような状況下においても、新製品開発型メーカーとして、アカデミア(大学などの学術研究機関)との共同研究の推進やAIを活用した研究開発プラットフォームの開発など、継続して研究開発力の強化に取り組んできました。

また、社会から信頼される組織を目指し、品質保証体制の強化に取り組みました。新型コロナウイルス感染症の影響で、海外の原材料サプライヤーを現地査察することはできませんでしたが、現地査察に代えて、リモート査察

を実施しサプライヤーの協力を得ながら、品質管理フォーマットを見直し、管理することで品質保証体制の充実を図りました。

サプリメント事業においては、各地のスポーツ大会やイベントが中止・延期となり、スポーツサプリメント(WINZONEシリーズ)は厳しい販売環境となりました。しかし、実業団や大学チームに対するフォロー活動を推進し、さまざまなスポーツ競技でWINZONEユーザーが好成績を収めました。また、エイジング

ケアサプリメントの「マンゴスティア」「記憶の小箱」では、オンラインマーケティングを通して、新規顧客の獲得に取り組み、定期顧客数が大きく伸びました。

バルク事業においては、インバウンド需要が大きく落ち込む中、テレワーク下で人々の健康志向が高まり、在宅トレーニング需要を取り込んだスポーツニュートリション向けの乳たん白類の売上が大きく伸びました。



WINZONEプロテイン



マンゴスティア

記憶の小箱



価値創造に向けた取り組み

フードロス削減への貢献

人生100年時代を迎え、私たちは長く生きるだけでなく、いかにして自分らしく豊かな生活を送るかが重要な時代となってきました。しかし、少子高齢化が進み、国の財政はますます逼迫していきます。私たちは、社会医療制度に頼らず、自分の健康は自分で守らなくてはなりません。病気の治療には医薬品が不可欠のように、病気にならないために健康食品を上手に活用していく時代になりつつあります。人々の健康志向や疾病予防のニーズが高まっている今だからこそ、私たちは食を通じて人々の健康と豊かな生活創りに貢献してまいります。

新型コロナウイルス感染拡大によって、私たちの生活は大きく変わりました。時代とともに食品に対する消費者の考え方も変化しています。最近では、ただおいしく栄養を摂取できるだけでなく、製品の製造工程や健康により良いものであるかということに注目し、さらには環境に配慮された製品を選ぶ消費者が増えてきています。消費者には手に取る製品がどこで誰が作ったものなのか、パッケージに記載されている原材料がどこから来たものなのかを知りたいというニーズがあります。この消費者の知りたいという欲求を満たすものが今、世界中で広がっている「クリーンラベル」という概念です。消費者は「安心・安全で健康

的な食品」を求めると同時に「製品のことを理解したい」という強い欲求を持っています。こうしたトレンドを受けて、世界では代替肉などの新たな市場が生まれ、急速に拡大するとともに、保存料を使わない、より自然なものをを使った商品が広がっています。当社は将来を見据え、環境への配慮や食料問題、フードロスといった社会問題を解決する製品開発へ挑戦します。人々のまだ顕在化していないニーズをいち早く見出し、製薬企業ならではの高い技術力を駆使して、食を通じて人々の健康につながる新製品を創出していきます。

日本の総人口は長期の減少過程に入っており、2048年には1億人を割り9,913万人になると推計されています。これに伴い、中長期的に見れば食品業界も国内市場は徐々に縮小していくと考えられます。一方で中国をはじめ、ベトナムやタイ、インドネシアなどのアジア諸国は労働人口の増加、急速な経済成長、高所得層の拡大により、市場は急速に拡大しています。

現在、機能食品事業としては中国、韓国、台湾など限られた国での製品販売のため売上規模は小さいですが、海外案件の問い合わせは徐々に増えています。自社で開発した独自性の高いヘルスケア製品や素材を世界中の人々にお届けし価値を提供できるよう、海外での販売体制を整えグローバル展開を目指していきます。

2021年度の戦略

バルク事業とサプリメント事業を両輪とし、機能食品事業の高収益体質へのさらなる転換を図る

サプリメント事業は、2021年度からサプリメント企画推進部を新設しました。この体制のもと、2021年度はアスリートに最も支持されるサプリメントブランドを目指す「スポーツサプリメント」、疾病予防・エイジングケア分野のバイオニアを目指す「エイジングケアサプリメント」に経営資源を投入し、大きな飛躍を目指します。

バルク事業については、主力カテゴリーとなる健康食品素材、品質安定保存剤、プロテイン製剤の各カテゴリーにおいて、特長のある新製品を計画的に上市することでさらなる売上の伸長を図ります。

また、新たに消費者意向分析ツールやマーケティングデータベースを導入し、より実効性のある販売戦略を立案し、新製品の売上を早期に最大化させます。

このようにサプリメント事業とバルク事業を両輪とし、サプリメント事業を一気に伸長させることで機能食品事業の高収益体質への転換をさらに加速させていきます。